履修時期	2026年度前期	授業クラス	A	曜日	木	時限	4	単位数	2	時間数	30
科目名	キャリアガイダンス			必修・選択	必修	講師名				実務経験	有

実務経験の内容と授業に活かす具体的記述（授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載）

客室乗務員・訓練インストラクターとして勤務した経験を活かし、即戦力となるような人財育成に努めます。

教材・自己学習法・目指せる資格など	授業のねらい、将来の活用例など
オリジナル教材	将来、自分が思い描くキャリアを描けるよう、これまでの経験を整理し、就職活動に向けた準備を行う。 また、「自分と向き合う」ことで自身が大切にしている価値観に気づき、企業にアピールすべき自分の「強み」を認識し自己PRの作成につなげる。 またAI使用は自分の経験を整理・言語化するための補助ツールとして使用する。

授業概要（成果発表や課外活動など含む）、授業形式（座学や実技、ワークなど）、評価方法と基準（形式や回数、配点など）

(授業概要)
本授業は、就職活動および将来のキャリア形成に向けて、自己理解を深め自身の強みや価値観を言語化することを目的とする。これまでの経験や出来事を振り返りながら整理・分析をおこない、企業に伝えるべき自己PRを構築する。また、生成AIを補助的なツールとして活用し、文章構成や表現の改善をおこなうことで、論理的かつ説得力のある文章作成力を養う。授業後半では、文章だけではなくアピール動画の作成にも取り組み、実践的なアウトプットを通じて自己表現の向上を図る。
(授業形式) 実技・ワークシート
(評価方法) D評価は単位付与なし。ワークシート・課題提出・文章課題・アピール動画等により総合的に評価

	実施日	学習項目や学習概略	自己チェック　到達目標（Can Doなど）
1	4月16日	オリエンテーション 就職活動スケジュール キャリアデザイン「働く」を考える	□この授業の到達目標・授業形式・評価基準を理解する □就職活動の全体的なスケジュールを把握できる（選考基準・学校推薦企業） □キャリアデザインをするうえで必要な「自分を知る」「社会を知る」を理解することができる
2	4月23日	自己理解① 就職活動における情報収集と整理	□就職活動でも活用できる体験を、自身が認識し学校生活で得られるよう目標設定する □内定獲得ロードマップを作成する □挑戦してよかったこと・今年度中に挑戦することを設定する（提出20点） □就職活動における情報収集の手段、整理の方法を理解できる
3	5月7日	スポーツデー	
4	5月14日	御殿場イングリッシュキャンプ	
5	5月21日	御殿場イングリッシュキャンプ	
6	5月28日	御殿場イングリッシュキャンプ	
7	6月4日	御殿場イングリッシュキャンプ	
8	6月11日	★身だしなみ講座の空き時間で実施★ 自己理解② 過去の経験を整理する	□自分のキャラクターを認識する □提出20点
9	6月18日	自己理解③ 過去の経験を整理する	□自己理解・分析の目的と進め方を理解する □企業が求める人財だと感じていただける自己PRを理解する □成功体験・失敗体験など、出来事を整理する
10	6月25日	自己理解④ 過去の経験の整理と強み	□過去の経験をもとに、エピソードを3つ選定し、自身の軸として確立することができる □自身の軸と目指す業界の共通点を見つけ、自分の中に落とし込むことができる
11	7月2日	設問トレーニング① 文章構成	□生成AIを使用　コンテキストを使用し、プロンプトを入力・実施できる □過去のESの設問に対し、論理的な文章を構築できる □PREP・STAR法など簡単な文構成を学び、セルフチェックができるようになる（提出20点）
12	7月7日	設問トレーニング② 自己PR	□自己PRの基本構成・ポイントを把握することができる □具体的な「行動」に焦点を当て、アピールポイント（人柄・性格）を整理できる
13	7月9日	設問トレーニング③ 自己PR	□自己PRの題材を選定し、アピールポイントを整理・決定する □具体的な行動における「場面・状況・課題・成長・変化」を説明することができる □自己PRの題材について、指定文字で説明することができる（200・300・400文字）提出20点
14	7月16日	設問トレーニング④ 自己PR/学生時代に力を入れたこと	□ガクチカの基本構造・ポイントを把握することができる □ガクチカ（直近3年程度）のエピソードを整理し、まとめることができる
15	7月23日	設問トレーニング⑤ 自己PR/学生時代に力を入れたこと	□具体的な行動における「場面・状況・課題・成長・変化」を説明することができる □自己PRの題材について、指定文字で説明することができる（200・300・400文字） 提出20点 □生成AIを使用し、コンテキスト・プロンプトを入力し実施できる
16	7月30日	設問トレーニング⑥ アピール動画の作成	□自己アピール動画の作成手順を知ることができる □指定課題に沿った動画を収録することができる □夏季休暇における過ごし方を考えることができる

履修時期	2026年度前期	授業クラス	A1	曜日	火	時限	1	単位数	2	時間数	30
科目名	キャビンアテンダント演習			必修・選択	必修	講師名				実務経験	有

実務経験の内容と授業に活かす具体的記述（授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載）

ANAのCAとしての実務経験や、インストラクター、管理職としての経験を活かしCA業務の基本を行動化できるようにサポートします。

教材・自己学習法・目指せる資格など	授業のねらい、将来の活用例など
オリジナル教材	航空業界は職種を超えたコミュニケーションが必須である。CAとして現場でのコミュニケーションにおける聴き方話し方を学び、自ら考え業務を実施できる基礎をつくる。

授業概要（成果発表や課外活動など含む）、授業形式（座学や実技、ワークなど）、評価方法と基準（形式や回数、配点など）

(授業概要)
2年間を通してキャビンアテンダントとして言葉遣いや所作など素養を身につけたうえで、サービス要員としての高いスキルと保安要員としての意識を習得することを目標とします。その中でも現場での実務をスムーズに実施するための聴き方、話し方などを含めた基礎を中心に学びます。
(授業形式)
ディスカッション/講義
(評価方法)
提出物、実技テスト、筆記テストの合計（満点100）により評価する。評価基準はA（100～80点）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）。
D評価者は単位を付与しない。

回数	実施日	学習項目や学習概略	自己チェック　到達目標（Can Doなど）
1	4月14日	オリエンテーション(シラバス説明など) GD①（聴き方、話し方、PREP法、GDとは、） 宿題：「好きな〇〇」	□授業の到達点、流れなどを確認する
2	4月21日	GD② 実習：第一印象（30秒トーク）姿勢、手足動いていないか、笑顔、人の目を見ているか 課題提出：20点	□ディスカッションの方法を理解する □話し方、聴き方のポイントを確認する □自分の言葉で述べる
3	4月28日	GD③（実践15分2回実施） 課題提出：20点	□自分の意見を相手に伝えることができる □与えられたテーマについてディスカッションすることで話し方、聴き方を身につける
4	5月12日	御殿場	
5	5月19日	御殿場	
6	5月26日	御殿場	
7	6月2日	御殿場	
8	6月9日	GD③（実践10分＋発表＋補足＋質問） 提出物20点①②③について　時間内提出	□自分の意見を相手に伝えることができる □与えられたテーマについてディスカッションすることで話し方、聴き方を身につける □質問力を上げる
9	6月16日	GD④多様性について 提出物20：多様性についてのレポート	□自分の意見を相手に伝えることができる □与えられたテーマについてディスカッションすることで話し方、聴き方を身につける □テーマについての見識を広げる
10	6月23日	GD⑤（実践20分＋発表＋補足＋質問）	□自分の意見を相手に伝えることができる □与えられたテーマについてディスカッションすることで話し方、聴き方を身につける □テーマについての見識を広げる
11	6月30日	GD⑥	□自分の意見を相手に伝えることができる □与えられたテーマについてディスカッションすることで話し方、聴き方を身につける □テーマについての見識を広げる
12	7月7日	振替業界研究（1限目でA1とA2合同）	
13	7月14日	専門用語	□航空業界で必要な専門用語について知る
14	7月21日	専門用語筆記テスト20点 座学：お客様心理とクッション言葉	□専門用語の理解度を確認する □お客様心理に関して考える
15	7月28日	まとめ	□前期の振り返りをする

履修時期	2026年度前期	授業クラス	AB1	曜日	月	時限	2	単位数	2	時間数	30
科目名	Listening Training・Reading Training			必修・選択	必修	講師名				実務経験	-

実務経験の内容と授業に活かす具体的記述（授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載）

Tom has been teaching English for 16 years both in Japan and Thailand. He completed a Master's Degree in TESOL and Applied Linguistics

教材・自己学習法・目指せる資格など	授業のねらい、将来の活用例など
You will have access to these resources: 1. Original materials created by the teacher. 2. Shadowing material. 3. Speed Reading material. 4. Graded Readers.	This course is one year long (two semesters). The course has two aims: (1) to help you better understand English when reading and listening. (2) to give you a lot of English input to improve your overall English level. In semester 1, you will learn how to build good habits and learn useful listening and reading skills.

授業概要（成果発表や課外活動など含む）、授業形式（座学や実技、ワークなど）、評価方法と基準（形式や回数、配点など）

(授業概要)
In each lesson, you will receive a lot of input from the teacher, materials, and activities. Each lesson will focus on one listening or reading habit or skill.
(授業形式)
We will start each lesson by reviewing habits and skills we have already learned. We will then learn a new habit or skill and practice it. Finally, we will reflect on the learning experience by using the "Listening and Reading Training Portfolio"
(評価方法)
(1) Listening & Reading Logbooks (8 x 10 points = 80 points). (2) Portfolio Submission (20 points).

回数	実施日	学習項目や学習概略	自己チェック　到達目標（Can Doなど）
1	4月13日	**Orientation:** What is Listening & Reading Training.	☐ You will get the essence of what "Listening & Reading Training I" ☐ You will learn about the course goals and assessment.
2	4月20日	**Unit 1:** Listening & Reading Habits **Lesson 1:** Shadowing	☐ You will learn how to do shadowing to improve our pronunciation and fluency. ☐ Listening and Logbook 1 (PLEASE SUBMIT BY THE DEADLINE).
3	4月27日	**Unit 1:** Listening & Reading Habits **Lesson 2:** Speed Reading	☐ You will learn how to do speed reading to read faster. ☐ Listening and Logbook 2 (PLEASE SUBMIT BY THE DEADLINE).
4	5月11日	御殿場	
5	5月18日	御殿場	
6	5月25日	御殿場	
7	6月1日	御殿場	
8	6月8日	**Unit 1:** Listening & Reading Habits **Lesson 3:** Podcasts	☐ You will learn how to find a podcast that is interesting and good for your level. ☐ Listening and Logbook 3 (PLEASE SUBMIT BY THE DEADLINE).
9	6月15日	**Unit 1:** Listening & Reading Habits **Lesson 4:** Silent Reading	☐ You will learn how to do silent reading to get input and focus better. ☐ Listening and Logbook 4 (PLEASE SUBMIT BY THE DEADLINE).
10	6月22日	**Unit 2**: Listening & Reading Skills **Lesson 1:** Scanning	☐ You will learn how to scan to find important information in a text. ☐ Listening and Logbook 5 (PLEASE SUBMIT BY THE DEADLINE).
11	6月29日	**Unit 2:** Listening & Reading Skills **Lesson 2:** Listening for information	☐ You will learn how to listen for information without understanding everything. ☐ Listening and Logbook 6 (PLEASE SUBMIT BY THE DEADLINE).
12	7月6日	**Unit 3:** Listening & Reading Skills **Lesson 3:** Skimming	☐ You will learn how to skim to understand the main idea of a text. ☐ Listening and Logbook 7 (PLEASE SUBMIT BY THE DEADLINE).
13	7月13日	**Unit 4:** Listening & Reading Skills **Lesson 4:** Listening for the gist	☐ You will learn how to listen for the main idea without understanding everything. ☐ Listening and Logbook 8 (PLEASE SUBMIT BY THE DEADLINE).
14	7月27日	Feedback	☐ You will receive your final grade and feedback for the course.

履修時期	2026年度前期	授業クラス	AB2	曜日	月	時限	1	単位数	2	時間数	30
科目名	TOEIC Listening			必修・選択	必修	講師名				実務経験	有

実務経験の内容と授業に活かす具体的記述（授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載）

英語を社内言語とする外資系金融会社のエンジニアとして20代を過ごした経験を通し、ビジネスシーンにおける実践的英語表現を紹介する

教材・自己学習法・目指せる資格など	授業のねらい、将来の活用例など
TOEIC公式問題集 Vol.6	CAコースは600点以上、GSコースは550点以上を獲得する。 TOEIC Listeningの4つのパートの問題形式と解答のコツを説明することができるようになる。

授業概要（成果発表や課外活動など含む）、授業形式（座学や実技、ワークなど）、評価方法と基準（形式や回数、配点など）

(授業概要)
Listeningの演習問題に取り組み、経験値を上げる。単語対策、シャドーイング、書き取りなどのリスニングトレーニングを通し、問題の傾向とコツを掴む。
(授業形式)
講義形式
(評価方法)
評価テスト3回（30点、30点、40点）

回数	実施日	学習項目や学習概略	自己チェック　到達目標（Can Doなど）
1	4月13日	TOEIC 演習問題 （Part1、Part2）	□現在進行形のかたちを説明できる □現在進行形の意味を説明できる □Part2で聞き取るべきポイントを説明できる
2	4月20日	TOEIC 演習問題 （Part1、Part2、Part3）	□前回の重要単語の意味を5つ以上答えられる □受け身の進行形が使われるパターンを説明できる □5W1Hを全て挙げることができる
3	4月27日	TOEIC 演習問題 （Part2、Part3、Vocabulary） 評価テスト①（30点）	□前回の重要単語の意味を5つ以上答えられる □ディクテーションをする際の注意点を説明できる □Part3の問題の先読みがなぜ重要か説明できる
4	5月11日	御殿場	
5	5月18日	御殿場	
6	5月25日	御殿場	
7	6月1日	御殿場	
8	6月8日	TOEIC 演習問題 （Part2、Part3、Vocabulary）	□前回の重要単語の意味を5つ以上答えられる □会話の出だしを聞いて話者の関係性を予想することができる
9	6月15日	TOEIC 演習問題 （Part2、Part3、Vocabulary）	□前回の重要単語の意味を5つ以上答えられる □会話の出だしを聞いてその後の会話の内容を予想することができる
10	6月22日	TOEIC 演習問題 （Part2、Part3、Vocabulary） 評価テスト②（30点）	□前回の重要単語の意味を5つ以上答えられる □Part3の会話が行われる状況を5つ以上挙げることができる
11	6月29日	TOEIC 演習問題 （Part2、Part4、Vocabulary）	□前回の重要単語の意味を5つ以上答えられる □Part4の問題の先読みがなぜ重要か説明できる
12	7月6日	TOEIC 演習問題 （Part2、Part4、Vocabulary）	□前回の重要単語の意味を5つ以上答えられる □アナウンスの出だしを聞いただけで話者が何者か予想することができる
13	7月13日	TOEIC 演習問題 （Part2、Part4、Vocabulary） 評価テスト③（40点）	□前回の重要単語の意味を5つ以上答えられる □Part3とPart4に共通する出題パターンを説明できる
14	7月27日	Feedback	□目標スコア獲得のために取り組むべき学習を3つ挙げられる

履修時期	2026年度前期	授業クラス	AB2	曜日	月	時限	1	単位数	2	時間数	30
科目名	TOEIC Reading			必修・選択	必修	講師名				実務経験	-

実務経験の内容と授業に活かす具体的記述（授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載）

通訳案内士（国家資格）の資格を有し、非英語圏学習者が英語コミュニケーションスキル向上を目指す際の注意点について助言を行いながら指導を行う

教材・自己学習法・目指せる資格など	授業のねらい、将来の活用例など
オリジナル教材 （公式問題集等）	TOEIC® Test Reading sectionにて試される、語彙力・文法力の基礎力を強化する 前期はPart 5文法問題対策をメインに実施、後期は長文問題にも徐々にチャレンジできる力を養う

授業概要（成果発表や課外活動など含む）、授業形式（座学や実技、ワークなど）、評価方法と基準（形式や回数、配点など）

(授業概要)
TOEIC PART 5の文法事項の学習を中心にリーディング全体の問題演習(毎回テーマを設定）を行い、TOEIC Readingセクションにおける対応力を強化する
(授業形式)
講義および実技等
(教材)
オリジナル教材、公式問題集
(評価方法) 確認テスト（既習範囲より出題）3回実施 各30～40点予定

回数	実施日	学習項目や学習概略	自己チェック　到達目標（Can Doなど）
1	4月13日	オリエンテーション 文法問題演習、読解サンプル問題演習、語彙の学習	□TOEIC Test概要を把握する □TOEIC Reading section各パートの形式と必要な解答スキルを把握 □名詞の使い方を理解する　□TOEIC頻出語彙の学習
2	4月20日	文法問題演習 読解演習、語彙の学習	□形容詞の使い方を理解する □TOEIC頻出語彙の学習 □ショートメールのやり取りの読解演習を行う
3	4月27日	確認テスト① 読解演習、語彙の学習	□確認テストにおいて理解度のチェックを行う（30点） □TOEIC頻出語彙の学習 □スケジュールを含む文書の読解演習を行う
4	5月11日	御殿場	
5	5月18日	御殿場	
6	5月25日	御殿場	
7	6月1日	御殿場	
8	6月8日	文法問題演習 読解演習、語彙の学習	□副詞の使い方を理解する □TOEIC頻出語彙の学習 □注文フォームの読解演習を行う
9	6月15日	文法問題演習 読解演習、語彙の学習	□動詞の学習、主語・述語の一致に注意する □TOEIC頻出語彙の学習 □客への案内文の読解演習を行う
10	6月22日	文法問題演習、語彙の学習 確認テスト②	□確認テストにおいて理解度のチェックを行う（30点） □動詞の時制について理解する □語彙の学習
11	6月29日	文法問題演習 読解演習、語彙の学習	□動詞の時制について理解する □語彙の学習 □宅配便の通知票の読解演習を行う
12	7月6日	文法問題演習 読解演習、語彙の学習	□受動態の使い方を理解する □語彙の学習 □イベント案内告知文の読解演習を行う
13	7月13日	文法問題演習、語彙の学習 確認テスト③	□確認テストにおいて理解度のチェックを行う（40点） □助動詞の使い方を理解する □語彙の学習
14	7月27日	総復習、Feedback	□既習事項の復習 □確認テスト結果、総合成績の案内（1on1） □学習法など、全体で共有すべき内容について案内

履修時期	2026年度前期	授業クラス	ABC	曜日	金	時限	2	単位数	2	時間数	30
科目名	エアライン・サービス論			必修・選択	必修	講師名				実務経験	有

実務経験の内容と授業に活かす具体的記述（授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載）

航空会社勤務の経験を活かし、将来につながる航空業界について幅広い視点からお話しします。

教材・自己学習法・目指せる資格など	授業のねらい、将来の活用例など
オリジナル教材	1. 航空会社の業務についての基礎知識を体得し、業務やサービスの多様性を理解できる。 2. 実務社会でも求められるチームワーク、コミュニケーションの重要性について意識・共感することができる。 3. 航空産業が求めるグローバル人財とは何かを理解できる。

授業概要（成果発表や課外活動など含む）、授業形式（座学や実技、ワークなど）、評価方法と基準（形式や回数、配点など）

(授業概要)
航空会社のサービスの基本である航空機の運航（オペレーション）に関わる業務内容を、顧客と接する
サービスを提供する部門の仕事内容と併せ理解する。
・労働主役産業の典型である航空産業が際立って有する特性は何かを学て、産業としての課題を考える。
・新興著しいLCCの戦略と既存FSCを比較して学び、多様化する服ニーズとその対応を考察する。
(授業形式)
講義
(評価方法)
レポート提出・グループディスカッション

回数	実施日	学習項目や学習概略	自己チェック　到達目標（Can Doなど）
1	4月10日	オリエンテーション（受講に関係する心構え）	講義の目的、進め方、評価項目と方法 当科目終了後になりたい姿 公共の交通機関であるエアラインとは、そのサービスとは何か考える
2	4月17日	航空運航業務の特性（航空運送業務の概要）	航空業界に関わる基本的な知識と現在の業界の状況、事業特性を学び、航空業界全体を理解する
3	4月24日	エアラインの業務 お客様視点から見た、予約から到着までの流れと業務視点から見た流れ	利用する側から見た飛行機で旅をする視点とエアラインで業務を行うスタッフの視点で一連の流れを把握する オペレーションの6つの業務および飛行機を運航する上で欠かせないケータリング、機体清掃、給油などの業務を理解する
4	5月8日	復習	ここまでの振り返りを実施し、理解する
5	5月15日	御殿場イングリッシュキャンプ	
6	5月22日	御殿場イングリッシュキャンプ	
7	5月29日	御殿場イングリッシュキャンプ	
8	6月5日	御殿場イングリッシュキャンプ	
9	6月12日	エアラインの業務 ①客室乗務員	客室乗務員の仕事を理解する。サービス面だけではなく安全やマーケティング要員として求められる役割を理解する
10	6月19日	エアラインの業務Ⅰ②グランドハンドリング・貨物部門	空港で、お客様から見えない場面で業務を実施するオペレーションを支えるグランドハンドリング業務・お客様の手荷物と貨物の流れを理解する
11	6月26日	エアラインの業務Ⅰ③グランドスタッフ	空港の様々な場面において、お客様の旅のお手伝いをするグランドスタッフの業務を理解する(Lounge業務含む)
12	7月3日	エアラインの業務 ④整備部門⑤運航乗務員	エアラインにとって最も重要な安全を支える運航乗務員、整備士の仕事を理解する。運航乗務員、整備士がお客様に対して提供するサービスとは何かについて考える。
13	7月10日	エアラインの業務 ⑥運航管理（オペレーション・サポート）	・お客様と直接接する機会は少なく表には見えない存在ではあるが、運航を支える運航管理業務を理解する ・業務の主軸である安全性・定時性・効率性、快適性へのこだわりのポイントを理解し、こだわりを実現するために関わりの深いケータリング、機体清掃、給油などの業務との関係性を理解する
14	7月17日	第1回目テスト ：グループディスカッション ：レポートを含む筆記試験	グループで意見を出し合って疑問点を洗い出す。 筆記は、言葉の知識確認とレポート（第一志望と選択した理由を記載する） ①20分まとめ講義　②20分 グループディスカッション ③10分 質疑 ④40分 筆記 40点
15	7月24日	顧客満足度(CS) CSとは?CSとES、顧客満足を促す企業の使命	CSの意味を理解し、CSとESの関係、必要性を考える最終的にCSを追求する企業の使命を認識する
16	7月31日	第2回目テスト ：グループディスカッション ：レポートを含む筆記試験	グループで意見を出し合って疑問点を洗い出す。 筆記は、言葉の知識確認とレポート（CSとESの相互関係について） ①20分まとめ講義　②20分 グループディスカッション ③10分 質疑 ④40分 筆記 40点

履修時期	2026年度前期	授業クラス	ABC1	曜日	火	時限	2	単位数	2	時間数	30
科目名	航空機概論			必修・選択	必修	講師名				実務経験	有

実務経験の内容と授業に活かす具体的記述（授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載）

ANAのCAとしての実務経験や、インストラクター、管理職としての経験を活かし航空機について理解できるようサポートします。

教材・自己学習法・目指せる資格など	授業のねらい、将来の活用例など
教材：講師作成資料	航空機の概要、機種別特性等を学びことで、一般的な航空機概論を理解し、航空の安全運航に関わる施設の知識などを習得する。

授業概要（成果発表や課外活動など含む）、授業形式（座学や実技、ワークなど）、評価方法と基準（形式や回数、配点など）

(授業概要)
講義を通して、業務にかかわる航空機の特性や識別能力を高め、即戦力として業界で活躍できる人材育成を目指す。
(授業形式)
講師作成の資料を用いて講義したのち、その実践として練習問題に各自取り組む。
(評価方法)
確認テストの合計（満点100）により評価する。評価基準はA（100～80点）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）。
D評価者は単位を付与しない。

回数	実施日	学習項目や学習概略	自己チェック　到達目標（Can Doなど）
1	4月14日	□オリエンテーション □航空機一般について	□授業の意義目的、シラバス、評価方法、追試などを理解する □航空に関する歴史・概要を理解する
2	4月21日	□航空機一般について □航空機の空気力学と風洞について	□航空機に飛行原理について理解する □紙飛行機から空気の流れを理解する □いろいろな形の折り紙を活用し、物体の動きや流れを理解する
3	4月28日	□確認テスト①-1（15点満点）実技 □確認テスト①-2（20点満点）筆記	□工作を通して実技の確認テストを実施する(空気力学を応用し真直ぐに飛ばせるか) □第1回～第2回の範囲で確認テストを実施する
4	5月12日	御殿場	
5	5月19日	御殿場	
6	5月26日	御殿場	
7	6月2日	御殿場	
8	6月9日	□航空機一般について	□航空に関する概要・名称を理解する
9	6月16日	□民間航空機の種類について	□機種別の特徴を理解する（ボーイング編）
10	6月23日	□民間航空機の種類について	□機種別の特徴を理解する（エアバス編）
11	6月30日	□確認テスト②（30点満点）筆記	□第8回～第10回の範囲で確認テストを実施する
12	7月7日	□プロペラの理論について	□プロペラの理論について理解する □プロペラを自作し構造を理解する
13	7月14日	□プロペラの理論について □航空機力学と制御について	□プロペラを自作し構造を理解する □航空機に働く力と運動方程式について理解する
14	7月21日	□確認テスト③-1（15点満点）実技（プロペラ） □確認テスト③-2（20点満点）筆記	□工作を通して実技の確認テストを実施する(プロペラを調整し真直ぐ上に飛ばせるか) □第12回～第13回の範囲で確認テストを実施する
15	7月28日	□評価フィードバック	□成績のフィードバックを実施する

履修時期	2026年度前期	授業クラス	ABC I	曜日	金	時限	3	単位数	2	時間数	30
科目名	航空保安			必修・選択	必修	講師名				実務経験	有

実務経験の内容と授業に活かす具体的記述（授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載）

客室乗務員・訓練インストラクターとして勤務した経験を活かし、即戦力となるような人財育成に努めます。

教材・自己学習法・目指せる資格など	授業のねらい、将来の活用例など
航空業界に携わる準備（人間力形成）	①自己・他者・乗客の安全を確保する行動に必要な力を養う ②航空現場での危機状況を理解し、自分事として主体的に考えを持つことができる

授業概要（成果発表や課外活動など含む）、授業形式（座学や実技、ワークなど）、評価方法と基準（形式や回数、配点など）

(授業概要)
航空業界の過去の事象を通して、さまざまな角度から物事をとらえ、社会人として必要な主体性や考える力を培っていく授業です。
(授業形式)
講義、演習
(教材)
オリジナルテキスト
(評価方法)
レポート（20点×3回）、発表（20点×2回　発表はテスト扱いのため公欠以外の遅刻・欠席は点数付与不可）

回数	実施日	学習項目や学習概略	自己チェック　到達目標（Can Doなど）
1	4月10日	オリエンテーション	□この授業の目的・必要性を理解できた □この授業の評価方法について理解できた
2	4月17日	航空保安と安全・安心	□航空業界に関わることは、「命につながる仕事に就くということ」が理解できた □過去の事象から「事故を学ぶ意味」を考えられる
3	4月24日	<考えるチカラ> US Airwaysの事故から	□この出来事の背景を知り、自分事にして置き換えることができる
4	5月8日		□「何のため」を考える力を身につけることができる □学びをレポート（20点）にすることができる
5	5月15日	御殿場イングリッシュキャンプ	
6	5月22日	御殿場イングリッシュキャンプ	
7	5月29日	御殿場イングリッシュキャンプ	
8	6月5日	御殿場イングリッシュキャンプ	
9	6月12日	復習と「考えるチカラ」を伸ばすワーク	□ここまでの学びを振り返り、実践できる
10	6月19日	<言葉にするチカラ> 御巣鷹山の事故から	□この出来事の背景を知り、自分事にして置き換えることができる
11	6月26日		□立場に関わらず、考えを言葉にする力を身につける大切さを知ることができた □学びをレポート（20点）にすることができる
12	7月3日	グループワーク・発表	□周囲と協力し合いながら、自分の意見を持ち、伝えることができる □発表 20点
13	7月10日	<感情と行動をコントロールするチカラ> ハイジャック事故から	□この出来事の背景を知り、自分事にして置き換えることができる □感情に飲み込まれる前に心を整えるステップを決めることができた
14	7月17日		□感情をコントロールし、冷静な行動につなげる力を身につける大切さを知ることができた □学びをレポート（20点）にすることができる
15	7月24日	グループワーク・発表	□周囲と協力し合いながら、自分の意見を持ち、伝えることができる □発表 20点
16	7月31日	FB	□授業での学びを改めて振り返ることができる

履修時期	2026年度前期	授業クラス	ABC1	曜日	火	時限	3	単位数	2	時間数	30
科目名	就職筆記試験対策			必修・選択	必修	講師名				実務経験	有

実務経験の内容と授業に活かす具体的記述（授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載）

教員免許を取得し、中学・高校受験者の家庭教師を2年間、また高校での教職を5年間経験、本学では筆記試験やSPI対策の指導を実施中。

教材・自己学習法・目指せる資格など	授業のねらい、将来の活用例など
就職筆記試験対策（言語分野・非言語分野） 講師作成の資料	航空会社の就職採用試験で広く一般的に行われる、筆記試験やSPI試験の対策を行い、各企業が設けている合格基準に到達することが目標。おもにSPIの非言語分野を取り扱い、SPI試験を解くための算数や数学の基礎力と、それを活かしてSPIの頻出問題を解き、企業の採用試験突破を目標とする。

授業概要（成果発表や課外活動など含む）、授業形式（座学や実技、ワークなど）、評価方法と基準（形式や回数、配点など）

(授業概要)
おもにSPIの非言語分野の頻出問題を取り扱う。講義では、頻出問題の例題を解いたのちに解答解説を行うことで解答力を身につけ、その後は個人の理解力に応じて、テキストの練習問題や応用問題を解く。
(授業形式)
テキストを中心に必要に応じて講師が準備した練習問題などを解き、確認テストで知識の習得を確認する。
(評価方法)
筆記の確認テストの合計（満点100）により評価する。評価基準はA（100～80点）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）。

回数	実施日	学習項目や学習概略	自己チェック　到達目標（Can Doなど）
1	4月14日	授業ガイダンス 就職筆記試験・SPI試験の概要 計算力・語彙力診断テスト（評価対象外）	□授業形式と学習項目、評価基準を理解する □就職筆記試験やSPI試験とは何なのかを理解する □言語・非言語解答のための基礎力を確認する
2	4月21日	算数の基礎：四則計算トレーニング 非言語分野：推論①「順序」「内訳」	□整数・小数・分数の四則計算を早く正確に解く □条件を整理し、図を用いて人物やモノの順序を正確に決定する □複数条件を矛盾なく処理し、正しい構成を導く
3	4月28日	算数の基礎：四則計算トレーニング 確認テスト：推論①20点	□整数・小数・分数の四則計算を早く正確に解く □推論「順序」「内訳」の理解度を測る
4	5月12日	御殿場イングリッシュキャンプ	
5	5月19日	御殿場イングリッシュキャンプ	
6	5月26日	御殿場イングリッシュキャンプ	
7	6月2日	御殿場イングリッシュキャンプ	
8	6月9日	算数の基礎：Xを使った計算トレーニング 非言語分野：推論②「正誤」「平均」	□一次式・一次方程式・文字式を早く正確に解く □条件や記述の真偽を正確に判断し、整理して結論を導く □与えられた情報を整理し、複数条件を組み合わせて論理的に結論を導く
9	6月16日	算数の基礎：Xを使った計算トレーニング 非言語分野：推論③「人口密度」「濃度」	□一次式・一次方程式・文字式を早く正確に解く □人口密度の条件を整理し、面積と人口の関係を基に数量を矛盾なく推定する □濃度と成分量の関係を整理し、条件に基づいて正確に計算する
10	6月23日	確認テスト：推論②③30点 非言語分野：推論④「座席/位置」	□推論「正誤」「平均」「人口密度」「濃度」の理解度を測る □席順や位置関係の条件を整理し、図を用いて矛盾なく配置を推定する
11	6月30日	算数の基礎：単位の換算、割合 非言語分野：推論⑤「対戦」「条件」	□基準単位の大きさを理解し、大小の単位変換ができる □対戦結果の条件を整理し、勝敗関係から矛盾なく順位や関係性を推定する □与えられた条件を整理して活用し、求めらた数値を算出する
12	7月7日	算数の基礎：単位の換算、割合 確認テスト：推論④⑤20点	□基準単位の大きさを理解し、大小の単位変換ができる □推論「座席/位置」「対戦」「条件」の習熟度を測る
13	7月14日	算数の基礎：単位の換算、割合 非言語分野：図表の読み取り	□割合の基礎として、小数・歩合・百分率の変換ができる □表の情報を正確に読み取り、整理して、必要な情報を抽出して問題解決する
14	7月21日	算数の基礎：単位の換算、割合 非言語分野：図表の読み取り	□割合の基礎として、小数・歩合・百分率の変換ができる □表の情報を正確に読み取り、整理して、必要な情報を抽出して問題解決する
15	7月28日	確認テスト：図表の読み取り30点 前期のまとめ	□図表の読み取りの習熟度を確認する □前期に学習したSPI頻出問題の再確認

履修時期	2026年度前期	授業クラス	ABCD1	曜日	金	時限	1	単位数	2	時間数	30
科目名	プレゼンテーションスキル			必修・選択	必修	講師名				実務経験	有

実務経験の内容と授業に活かす具体的記述（授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載）

客室乗務員・訓練インストラクターとして勤務した経験を活かし、即戦力となるような人財育成に努めます。

教材・自己学習法・目指せる資格など	授業のねらい、将来の活用例など
オリジナル教材にて実施	面接選考へ向け、面接官とのコミュニケーションを意識した会話力・表現力を習得する。 特に前期は「面接形式を用いたプレゼンテーション能力育成」を中心に、「回答瞬発力」を高めるため、想定質問を数多くこなし伝える意識を養う。

授業概要（成果発表や課外活動など含む）、授業形式（座学や実技、ワークなど）、評価方法と基準（形式や回数、配点など）

(授業概要)
本授業は、面接形式のトレーニングを通して、人前で自分の考えや経験を分かりやすく伝える自己プレゼンテーション能力を身につけることを目的とする。
表情・発声・姿勢といった非言語コミュニケーションから、質問に対する構成力・瞬発力まで段階的に実践を重ね、最終的に人前で自信を持って話せる力の定着を図る。
(授業形式)
実技中心の演習形式で行う。個人発表、ペアワーク、グループワーク、グループディスカッション等を実施し、必要に応じて動画撮影による振り返りを行う。
(評価方法)
評価基準はA（100～80点）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）。D評価は単位付与なし。

回数	実施日	学習項目や学習概略	自己チェック　到達目標（Can Doなど）
1	4月10日	授業概要説明 オリエンテーション 自己表現トレーニング①	□表情トレーニング 「笑顔づくり」を実践し、面接における表情管理の重要性を理解する □授業の到達目標、授業形式、評価方法を理解する □就活面接で実施される「自己紹介」を実践・発表する<配点：5点>
2	4月17日	自己表現トレーニング② 効果的な「自己紹介」 発表時達成目標：「笑顔」	□表情トレーニング「笑顔づくり」を実践し、面接における表情管理の重要性を理解する □就職活動における「自己紹介」の違い・意味を理解し、実践できるようになる □自己紹介内容を再構築し、改めて発表する<配点：15点>
3	4月24日	自己表現トレーニング③ 指定課題：「専門学校志望理由」	□言語トレーニング「発声や活舌」を実践し、面接における声の重要性を理解する □就職活動における質問課題、「専門学校志望理由」の原稿を作成し、述べることができる □動画撮影を行う、自己紹介→専門学校志望理由（※必須） <配点：5点>
4	5月8日	自己表現トレーニング④ 指定課題：「専門学校志望理由」 発表時達成目標：「声の大きさ」	□言語トレーニング「発声や活舌」を実践し、面接における声の重要性を理解する □「専門学校志望理由」の解説・ポイントを聞いて再構築し、改めて発表する<配点：15点>
5	5月15日	GOTEMBA ENGLISH CAMP	
6	5月22日	GOTEMBA ENGLISH CAMP	
7	5月29日	GOTEMBA ENGLISH CAMP	
8	6月5日	GOTEMBA ENGLISH CAMP	
9	6月12日	自己表現トレーニング⑤ 指定課題：「成功体験」と「失敗体験」	□所作トレーニング 「姿勢」を実践し、面接における姿勢の重要性を理解する □就職活動における質問課題、「成功体験・失敗体験」の原稿を作成し、述べることができる <配点：5点>
10	6月19日	自己表現トレーニング⑥ 指定課題：「成功体験」と「失敗体験」 発表時達成目標：「姿勢（着席）」	□所作トレーニング「姿勢」を実践し、面接における姿勢の重要性を理解する □「成功体験」「失敗体験」の解説・ポイントを聞いて再構築し、改めて発表する <配点：15点>
11	6月26日	自己表現トレーニング⑦ 指定課題：「周りからどんな人と言われるか」	□表情トレーニング「アイコンタクト」を実践し、対面においての気配りを理解する □周りから見た自分を客観的に認識し、自身の意外な一面や違いを整理することができる □就職活動における質問課題、「周りからどんな人と言われるか」の原稿を作成し、述べることができる
12	7月3日	自己表現トレーニング⑧ 指定課題：「周りからどんな人と言われるか 発表時達成目標「アイコンタクト」	□表情トレーニング「アイコンタクト」を実践し、対面においての気配りを理解する □「周りからどんな人といわれるか」の解説・ポイントを聞いて再構築し、改めて発表する <配点：15点>
13	7月10日	自己表現トレーニング⑨ ※必須課題 指定課題：「授業当日発表」 瞬発力向上	□アイスブレイク「雑談力」を上げる （2分トーク） ※テーマ・条件当日設定 □質問の回答に対し、指定時間内に原稿作成・回答発表を行い、回答の瞬発力をあげる <配点：5点>
14	7月17日	自己表現トレーニング⑩ ※必須課題 指定課題：「授業当日発表」瞬発力向上	□アイスブレイク「雑談力」を上げる （2分トーク） ※テーマ・条件当日設定 □質問の回答に対し、指定時間内に原稿作成・回答発表を行い、回答の瞬発力をあげる <配点：5点>
15	7月24日	自己表現トレーニング⑪ ※必須課題 指定課題：「授業当日発表」 瞬発力向上 発表時達成目標：「学んだこと全て」	□アイスブレイク「伝達力」を上げる （2分トーク） ※テーマ・条件当日設定 □面接における立ち振る舞い「笑顔・声・姿勢・アイコンタクト」など基本所作を理解する □質問の回答に対し、指定時間内に原稿作成・回答発表を行い、回答の瞬発力をあげる <配点：10点>
16	7月31日	成績フィードバック グループトレーニング	□前期成績のフィードバックを行うと共に、後期の目標設定を行う □成長の度合いを確認する（動画撮影） 自己紹介→専門学校進学理由 （※必須）

履修時期	2026年度前期	授業クラス	A	曜日	木	時限	4	単位数	2	時間数	30
科目名	TOEIC Training			必修・選択	必修	講師名				実務経験	-

実務経験の内容と授業に活かす具体的記述（授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載）

英会話から検定対策まで幅広い年齢層への指導経験を持ち、さらに様々なメディアにおいて通訳・翻訳の経験を持つ。

教材・自己学習法・目指せる資格など	授業のねらい、将来の活用例など
①TOEIC550～600点 ②Google Drive ③TOEICL&R TEST出る単特急 金のフレーズ	TOEICスコアアップにて重要な勉強時間数を確保すること・自己学習のやり方、習慣を身につけることを目的とする授業。

授業概要（成果発表や課外活動など含む）、授業形式（座学や実技、ワークなど）、評価方法と基準（形式や回数、配点など）

(授業概要)
前期はリスニング力強化にフォーカスし、語彙力強化ディクテーション・シャドーイングトレーニング。
(授業形式)
学生各自がクラウド上に格納されたTOEIC問題を解く自主学習型授業。ポートフォリオを活用し、自身の学習の進捗管理と不明点を解消。
(教材)
① Google Drive
② DMM英会話 ※3限15:00～ ※予約忘れは欠席扱い
(評価方法) 計100点
テスト：計100点(10点・40点・10点・40点)

回数	実施日	学習項目や学習概略	自己チェック　到達目標（Can Doなど）
1	4月16日	【Week 1】オリエンテーション(授業説明) Google Drive学習方法解説・Portfolio作成 DMM English	☐ Portfolio・Google Driveの使用方法を理解した ☐ Google Drive WEEK1の学習を進めた ☐ 授業内でわからない点は調べたり、質問をして解決した
2	4月23日	【Week 2】 Test WEEK1 & 単語 1-50(10 Point) Google Drive学習方法解説・Portfolio追記 DMM English	☐ Google Drive WEEK2の学習を進めた ☐ 授業内でわからない点は調べたり、質問をして解決した
3	5月7日	スポーツデイ	
4	5月14日	御殿場	
5	5月21日	御殿場	
6	5月28日	御殿場	
7	6月4日	御殿場	
8	6月11日	3限「TOEICトレーニング」なしで6/8月の4限に振り替え 【Week 3】 Test WEEK2-7 & 単語 51-400(40 Point) Google Drive WEEK8・DMM English	☐ Google Drive WEEK8の学習を進めた ☐ 授業内でわからない点は調べたり、質問をして解決した
9	6月18日	【Week 4】 Google Drive WEEK9・DMM English	☐ Google Drive WEEK9の学習を進めた ☐ 授業内でわからない点は調べたり、質問をして解決した
10	6月25日	【Week 5】 Google Drive学習・WEEK10・DMM English	☐ Google Drive WEEK10の学習を進めた ☐ 授業内でわからない点は調べたり、質問をして解決した
11	7月2日	【Week 6】 Test WEEK9・10 & 単語 1-150(10 Point) Google Drive WEEK11・DMM English	☐ Google Drive WEEK11の学習を進めた ☐ 授業内でわからない点は調べたり、質問をして解決した
12	7月9日	【Week 7】 Google Drive Test WEEK12 Google Drive WEEK12・DMM English	☐ Google Drive WEEK12の学習を進めた ☐ 授業内でわからない点は調べたり、質問をして解決した
13	7月16日	【Week 8】 Google Drive Test WEEK8 Google Drive WEEK13・DMM English	☐ Google Drive WEEK13の学習を進めた ☐ 授業内でわからない点は調べたり、質問をして解決した
14	7月23日	【Week 9】 Test WEEK11-13 & 単語 401-550(40 Point) Google Drive WEEK14・DMM English	☐ Google Drive WEEK14の学習を進めた ☐ 授業内でわからない点は調べたり、質問をして解決した
15	7月30日	【Week 10】 Feedback Google Drive WEEK15・DMM English	☐ 自身の課題と今後の学習プランを理解した ☐ Google Drive WEEK2の学習を進めた ☐ 授業内でわからない点は調べたり、質問をして解決した

履修時期	2026年度前期	授業クラス	A	曜日	水	時限	1限/2限	単位数	2	時間数	30
科目名	ホスピタリティ研究			必修・選択	必修	講師名				実務経験	有

実務経験の内容と授業に活かす具体的記述（授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載）

航空会社で15年間客室乗務員として勤務

教材・自己学習法・目指せる資格など	授業のねらい、将来の活用例など
教材：PowerPoint、ロイロノート 自己学習法：学んだことを学校生活、アルバイト、企業実習先で実践する	①ホスピタリティの重要性を理解し、ホスピタリティに必要な5つの「力」を身につける ②様々な事例に対して対応できる力を身につける ③学内やアルバイト、企業実習先で、+αのホスピタリティ対応ができるようになる

授業概要（成果発表や課外活動など含む）、授業形式（座学や実技、ワークなど）、評価方法と基準（形式や回数、配点など）

授業概要
ブライダル、エアライン、鉄道、ホテル、テーマパーク、クルーズなど、各業界の事例をもとに、ホスピタリティに必要な5つの「力」を学び、ホスピタリティの重要性を理解し、実践的なスキルを身につける。
授業形式
ホスピタリティに必要な5つの力について業界事例をもとに、自ら気づきを得るためのワーク、ディスカッション・実技形式を中心とした授業を展開する。
評価方法
確認テストの合計（満点100）により評価する。評価基準はA（100～80点）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）。
D評価者は単位を付与しない。
筆記1回（30点）、実技1回（30点）、レポート1回（40点）

回数	実施日	学習項目や学習概略	自己チェック　到達目標（Can Doなど）
1	4月15日	・授業の意義目的、シラバス、評価方法、追試 ・ホスピタリティとサービス ・ホスピタリティに必要な力「感知力・想像力」	□ホスピタリティとサービスの違いを理解した □ホスピタリティに必要な「感知力・想像力」について理解した
2	4月22日	・ホスピタリティに必要な力「感知力・想像力」	□ホスピタリティに必要な「感知力・想像力」について理解した □ケーススタディにより「感知・想像」がより理解できるようになった
3	5月13日	御殿場 English camp	
4	5月20日	御殿場 English camp	
5	5月27日	御殿場 English camp	
6	6月3日	御殿場 English camp	
7	6月10日	・ホスピタリティに必要な力「マインド」	□ホスピタリティに必要な「マインド」について理解した □多様性・ダイバーシティについて理解した
8	6月17日	・ホスピタリティに必要な力「マインド」 【確認テスト】筆記（15点）	□ホスピタリティに必要な「マインド」について理解した □セルフマネジメントについて理解した □確認テスト：筆記
9	6月24日	・ホスピタリティに必要な力「マインド」 【確認テスト】レポート（15点）	□様々な考え方や行動があることを理解した □確認テスト：レポート
10	7月1日	・ホスピタリティに必要な力「マナー」	□ホスピタリティに必要な「マナー」について理解した □第一印象・表情・所作の重要性を理解した
11	7月8日	・ホスピタリティに必要な力「マナー」	□ホスピタリティに必要な「マナー」について理解した □言葉遣い・言葉の言い換え・価値語について理解した
12	7月15日	・ホスピタリティに必要な力「マナー」 【確認テスト】実技（30点）	□なぜマナーが重要かを理解した □確認テスト：動画提出
13	7月22日	・ホスピタリティに必要な力「コミュニケーション・知識」	□ホスピタリティに必要な「コミュニケーション・知識」について理解した □質問力・褒め力について理解した
14	7月29日	・ホスピタリティに必要な力「コミュニケーション・知識」 【確認テスト】レポート（40点）	□ホスピタリティに必要な「コミュニケーション・知識」について理解した □確認テスト：レポート提出

履修時期	2026年度前期	授業クラス	1EG	曜日	水	時限	4	単位数	2	時間数	←単位を入力
科目名	Conversational English			必修・選択	必修	講師名				実務経験	-

実務経験の内容と授業に活かす具体的記述（授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載）

教材・自己学習法・目指せる資格など	授業のねらい、将来の活用例など
Groupwork, speaking activities, & materials created by the Global Center	**You will learn to adapt to different situations you may encounter while travelling abroad. You will practice communicating to solve problems and complete your goals.**

授業概要（成果発表や課外活動など含む）、授業形式（座学や実技、ワークなど）、評価方法と基準（形式や回数、配点など）

(授業概要)
You will practice communicating to solve problems and complete your goals.
(授業形式)
You will complete various challenges by role-playing a character that you create. You will have to use your character's skills to pass difficult situations.
(教材)
Materials created by Global Center (available on LoiLoNote)
(評価方法)

回数	実施日	学習項目や学習概略	自己チェック　到達目標（Can Doなど）
1	4月15日	Orientation and Introductions	☐ Intruduce yourself ☐ Check your level ☐
2	4月22日	World Creation	☐ Fill the world with people and places. ☐ Present your creations ☐
3	5月13日	Gotemba English Camp	
4	5月20日	Gotemba English Camp	
5	5月27日	Gotemba English Camp	
6	6月3日	Gotemba English Camp	
7	6月10日	Character Mixer and Introductions	☐ Create the character you will play this semester. ☐ Develop your character by talking with your classmates' characters. ☐ Introduce your completed character to the class. (10 points)
8	6月17日	(1) Group Challenge (2) Role-playing Challenge (3) Solo Challenge	☐ Complete the role-play challenge as your character. (10 points) ☐ Complete the group challenge as your character. (10 points) ☐ Complete the solo challenge as your character. (10 points)
9	6月24日		
10	7月1日	(1) Group Challenge (2) Role-playing Challenge (3) Solo Challenge	☐ Complete the role-play challenge as your character. (10 points) ☐ Complete the group challenge as your character. (10 points) ☐ Complete the solo challenge as your character. (10 points)
11	7月8日		
12	7月15日	(1) Group Challenge (2) Role-playing Challenge (3) Solo Challenge	☐ Complete the role-play challenge as your character. (10 points) ☐ Complete the group challenge as your character. (10 points) ☐ Complete the solo challenge as your character. (10 points)
13	7月22日		
14	7月29日	Grades & Feedback	☐ You will give and receive feedback about this semester. ☐ ☐

履修時期	2026年度前期	授業クラス	ITB	曜日	水	時限	3	単位数	2	時間数	30
科目名	TOEIC L&R			必修・選択	必修	講師名				実務経験	有

実務経験の内容と授業に活かす具体的記述（授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載）

CELTA（英語教授法資格）保持・大学院にて言語教育修士号取得。

教材・自己学習法・目指せる資格など	授業のねらい、将来の活用例など
・Successful keys to the TOEIC listening and reading test	7月までにTOEIC 500点取得を目指す。GS/CA共に就職に向けて600点を年内または就職活動開始までに取得を目指す。

授業概要（成果発表や課外活動など含む）、授業形式（座学や実技、ワークなど）、評価方法と基準（形式や回数、配点など）

(授業概要)
教科書 Successful keys to the TOEIC Listening and Reading test goal 500と過去問・単語テストを組み合わせTOEICの試験対策を行う。
IPテストは7/18と12/5 （もう一度10月に一回必修があります）
(授業形式)
TOEICを全体的にカバーできるよう、Listening とreading それぞれを組み合わせてまんべんなく練習をする。前期はゆっくりシンプルなReadirを行うことによってlisteningのテストと合算した際の高得点獲得を目指す。
(評価方法)
筆記試験2回実施

回数	実施日	学習項目や学習概略	自己チェック　到達目標（Can Doなど）
1	4月15日	Lesson 1 self introduction TOEICについての解説	□Self introduction □TOEICの全体像について理解した(TOEIC Training との違い) □dictation と speed reading の練習
2	4月22日	Lesson 2 ：テキストUni t 1 教科書Unit 1 単語フレーズ	□Unit 1 教科書の単語の確認をする □Part 5 の過去問に挑戦する □dictation と speed reading の練習
3	5月13日	御殿場	
4	5月20日	御殿場	
5	5月27日	御殿場	
6	6月3日	御殿場	
7	6月10日	Lesson 3 教科書Unit 1 reading 来週のテスト対策	□Unit 1 reading part を攻略する □Part 7 の過去問に挑戦する □dictation と speed reading の練習
8	6月17日	Lesson 4 テスト① Unit 1 単元テスト（30点）	□教科書Unit 1 の単元テストを行う（２０分） □教科書Unit 2 の単語の確認 □ dictation と speed reading の練習 □Part 5 Test 1 121-130
9	6月24日	Lesson 5 テスト解説 教科書Unit 2 reading part	□ テスト解説　（間違いが多かったところを重点的に） □教科書Unit 2 を進める □dictation と speed reading の練習
10	7月1日	Lesson6 テスト② Unit 2 単元テスト（30点）	□教科書Unit 2 の単元テストを行う（20分） □教科書Unit 3 Listening と過去問 □dictation と speed reading の練習
11	7月8日	Lesson7 教科書Unit 3 Reading part	□テスト解説 □教科書Unit 3 Reading □dictation と speed reading の練習
12	7月15日	Lesson8 7月18日のTOEIC IPに向けて過去問調整	□過去問に挑戦する □テスト範囲の復習 □dictation と speed reading の練習
13	7月22日	Lesson 9 テスト③（40点）	□テスト③ □Unit 4 Listening □dictation と speed reading の練習
14	7月29日	Lesson 10 Feedback ・前期の復習	□テスト解説（間違いが多かったところを重点的に） □TOEICIP の結果をもとに後期の目標を立てる □dictation と speed reading の練習
15	#N/A		□ □ □

履修時期	2026年度前期	授業クラス	A	曜日	木	時限	2	単位数	2	時間数	30
科目名	エアライン業界研究			必修・選択	必修	講師名				実務経験	有

実務経験の内容と授業に活かす具体的記述（授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載）

客室乗務員・訓練インストラクターとして勤務した経験を活かし、即戦力となるような人財育成に努めます。

教材・自己学習法・目指せる資格など	授業のねらい、将来の活用例など
就職活動準備	各航空会社の違いを明確に知り、今の自分に必要なものを知ることができる 後期から始まる就職活動に向け、志望する企業の志望動機をある程度話せるようになる

授業概要（成果発表や課外活動など含む）、授業形式（座学や実技、ワークなど）、評価方法と基準（形式や回数、配点など）

(授業概要)
航空業界/会社の特徴を理解・研究し、業界や会社への志望動機を明確にする力を身に着けます。
「企業のこと」に重きを置いて就職活動の準備をする授業です。
(授業形式)
座学・ワーク
(教材)
オリジナル教材
(評価方法)
レポート・発表（30点×2回 テスト扱いのため、公欠に値しない遅刻や欠席は点数付与不可）、資料提出 20点×2回

回数	実施日	学習項目や学習概略	自己チェック　到達目標（Can Doなど）
1	4月16日	オリエンテーション	□なぜ各企業を研究・比較する必要があるのか理解できた □この授業の評価方法について理解できた
2	4月23日	日本航空株式会社について	□企業の歴史を理解し、企業理念を理解できる □選考の特徴やスケジュール、求める人物像を理解できる
3	5月7日	スポーツデー	
4	5月14日	御殿場イングリッシュキャンプ	
5	5月21日	御殿場イングリッシュキャンプ	
6	5月28日	御殿場イングリッシュキャンプ	
7	6月4日	御殿場イングリッシュキャンプ	
8	6月18日 1限	日本航空株式会社について	□企業の未来について想像することができる □資料提出 20点
9	6月18日	全日本空輸株式会社について	□企業の歴史を理解し、企業理念を理解できる □選考の特徴やスケジュール、求める人物像を理解できる 通常通り2限に実施
10	6月25日		□企業の未来について想像することができる □資料提出 20点
11	7月2日	実技テスト：企業研究発表① theme:「なぜANA/JALは 〇〇ランキング〇位になったのか」	□期限内に与えられたテーマについて考えられる □人前で印象よく話すことができる □人の意見を簡潔にまとめることができる □発表 30点（3分/1人）、レポート 30点
12	7月9日		
13	7月16日	スカイマーク株式会社について	□企業の歴史を理解し、企業理念を理解できる □選考の特徴やスケジュール、求める人物像を理解できる
14	7月23日	実技テスト：企業研究発表② theme:「航空会社の航空に依存しない戦略」 または 「マイレージ戦略」	□期限内に与えられたテーマについて考えられる □人前で印象よく話すことができる □人の意見を簡潔にまとめることができる □発表 30点（3分/1人）、レポート 30点
15	7月30日		